映画監督・今村さん

沖縄―宗谷岬　自転車で日本縦断の思い

ロードムービースタートライン

稚内で上映会開く

宗谷SBW　杉川氏とトークイベント

ロードムービーの上映会・トークイベント

宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議では25日、市立図書館で自転車日本縦断ロードムービー・スタートラインの上映会を開催。市民や関係者など約50人が参加し、映画の鑑賞や関係者とのトークイベントを通じ、作品を手掛けた今村彩子監督の思いなどを聞いた。

生まれつき耳が聞こえない今村監督が自ら被写体となり、自転車で日本を縦断する旅を記録したロードムービー。沖縄から宗谷岬まで3842キロ、57日間の旅の中で、数々の失敗や悪天候、健聴者とのコミュニケーションといった問題にぶつかりながらも前に進んでいく今村監督。オロロンラインを北上しながら宗谷岬を目指すサイクリスト達が何を思い、考えて来訪するのかを地域の人々で考えて共有する機会にと上映会を企画した。

同運営代表者会議の中場直見代表が「耳の聞こえないサイクリスト、映画監督の今村さんが2015年の夏、沖縄から日本最北端の宗谷岬を目指して日本縦断の旅を記録したロードムービー。映画のあとには、宗谷岬と自転車の魅力についてお話を聞くので最後まで楽しんで頂きたい」などと挨拶。

続いて映画を上映。今村監督が自転車で日本縦断に挑戦する中で感じた思いや人との出会い、サイクリングの魅力に迫る作品で、参加者が112分間のムービーを楽しんだ。

上映後、今村監督が話し手、杉川毅同運営代表者会議事務局長が聞き手となってトークイベント。手話通訳を介しながら杉川事務局長が「映画監督になろうと思ったきっかけは、「アメリカに留学されていますが、何がきっかけだったのか」、「日本縦断の旅で最初にくじけそうになったのはどこですか」などと質問。今村監督は「子どもの頃から耳が聞こえず、家族でテレビをみていても輪の中に入れずにいた。母から字の読み書きを教わり、父にみせてもらった外国映画が字幕で物語を楽しむことができ、映画の世界に興味を抱いた。外国映画の影響もあってアメリカの大学に進んだ。自転車に親しむようになり、サイクリストに聞くと宗谷岬を勧められた。宗谷岬までいけば今後の人生が見えるかもしれないと思った」と述べた。

（梅津真二）

市立稚内病院

研修医が積極的に

″インスタ″で情報発信

市立稚内病院の研修医が、SNSのインスタグラムで日頃の活動などの情報を発信して行われた日本ポイントオブケア超音波学会学術集会で奨学エコーを受賞。これにより医療に関する情報以外に稚内の飲食店情報なども積極的に発信していきたいという。また、研修医は基本的に2年間の任期だが、伊勢谷さんは「研修医が入れ替わっても常に情報発信できるように次の人に引き継いでいきたい」としている。

（梅津真二）

音楽に親しもう

年長児がコンサート鑑賞

稚内市幼児教育保育研究協議会では、29日午前10時から総合文化センターでミュージシ

きょう男女共同参画推進委員会

今年度第2回稚内市男女共同参画推進委員会は、本29日午後3時30分から市長会議室で開く。

議事は、第4次稚内市男女共同参画行動計画

気持ちいいネ

社会見学でカーリ

富岡幼稚園・保育園の年中児29人が28日、社会見学の一環でみどりスポーツパークを訪れ、カーリングを体験。子ども達が自由に氷上を歩くなどし、アイスに親しんだ。

見学している。

年中児はスキーウェアや帽子など防寒具に身を包み、カーリングホールへ。冬の時期とあって屋外い